

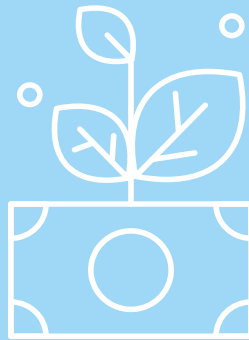
## 事業実績の概要

無償資金協力<sup>※3</sup> 695億円 (71件) 技術協力<sup>※1</sup> 1,918億円

— 研修員受入 116億円  
 — 専門家派遣 692億円  
 — 調査団派遣 447億円  
 — 機材供与 17億円  
 — 青年海外協力隊/海外協力隊派遣 39億円  
 — その他海外協力隊派遣 5億円  
 — その他 602億円

2021年度事業規模 合計

# 15,361 億円



— 円借款 11,580億円 (28件)  
 — 海外投融资 1,167億円 (13件)

有償資金協力<sup>※2</sup>  
**12,747 億円**  
 (41件)

## 技術協力 形態別の人数実績(新規/累計)

	新規	累計	
研修員受入	21,735人	676,079人	(1954~2021年度)
専門家派遣	2,583人	199,925人	(1955~2021年度)
調査団派遣	1,992人	305,942人	(1957~2021年度)
青年海外協力隊/海外協力隊派遣	312人	46,493人	(1965~2021年度)
その他海外協力隊派遣	43人	7,998人	(1999~2021年度) <sup>※4</sup>

(注) 移住者送出国は1995年度で終了。1952~1995年度の累計は、73,437人です。

(注) 各事業額は少数第1位四捨五入のため、合計値と合わないことがあります。

※1 有償資金協力勘定予算による技術支援などを含み、管理費を除く技術協力経費実績。

※2 円借款、海外投融资(貸付・出資)の承諾額。( )内は案件数。

※3 贈与契約(G/A)が締結された案件の供与限度額。( )内は案件数。

※4 内訳はシニア海外協力隊、日系社会シニア海外協力隊、国連ボランティア、日系社会青年海外協力隊。これらは1998年までは他の形態の実績として集計。



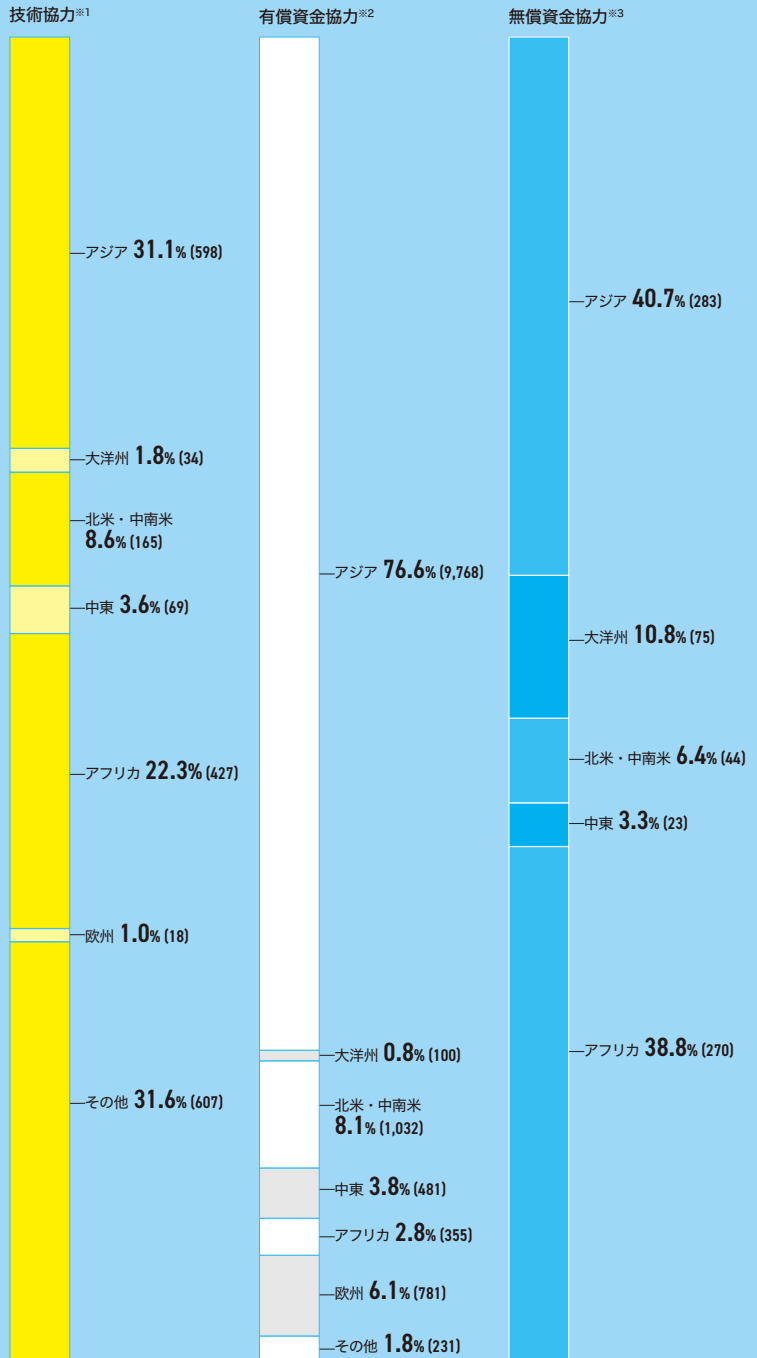
## 地域別の実績

技術協力については、アジア31.1%、アフリカ22.3%、北米・中南米8.6%の順で割合が多くなっています。また、新規承諾分に関する有償資金協力の地域別実績はアジア76.6%、北米・中南米8.1%、欧州6.1%の順と、2020年度から変わらず、アジアの比率が高くなっています。

無償資金協力では、アジア40.7%、アフリカ38.8%、大洋州10.8%と、2020年度と同様にアジアならびにアフリカが高い割合を占めています。

なお、「その他」には、国際機関や国・地域をまたぐもの(全世界)などが含まれています。

地域別の実績構成比(2021年度) (単位: %/億円)

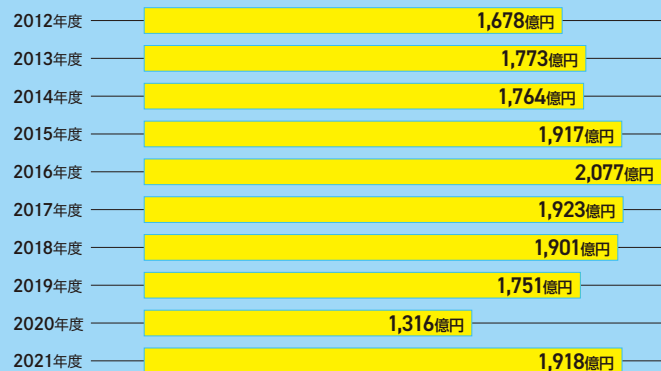


(注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがあります。  
 ※1 有償資金協力勘定予算による技術支援などを含み、管理費を除く技術協力経費実績。  
 ※2 円借款、海外投融資(貸付・出資)の承諾額。  
 ※3 贈与契約(G/A)が締結された案件の供与限度額。

## 過去10年間の推移

右の図表は、10年間の技術協力、有償資金協力、無償資金協力の各事業規模の推移を示しています。技術協力は、2021年度は1,918億円と前年度に比べ45.7%増、有償資金協力は、2021年度は12,747億円と前年度に比べ18.6%減、また、無償資金協力は、2021年度は総額695億円と、前年度に比べ3.1%の減となっています。

過去10年間の技術協力経費の推移※1



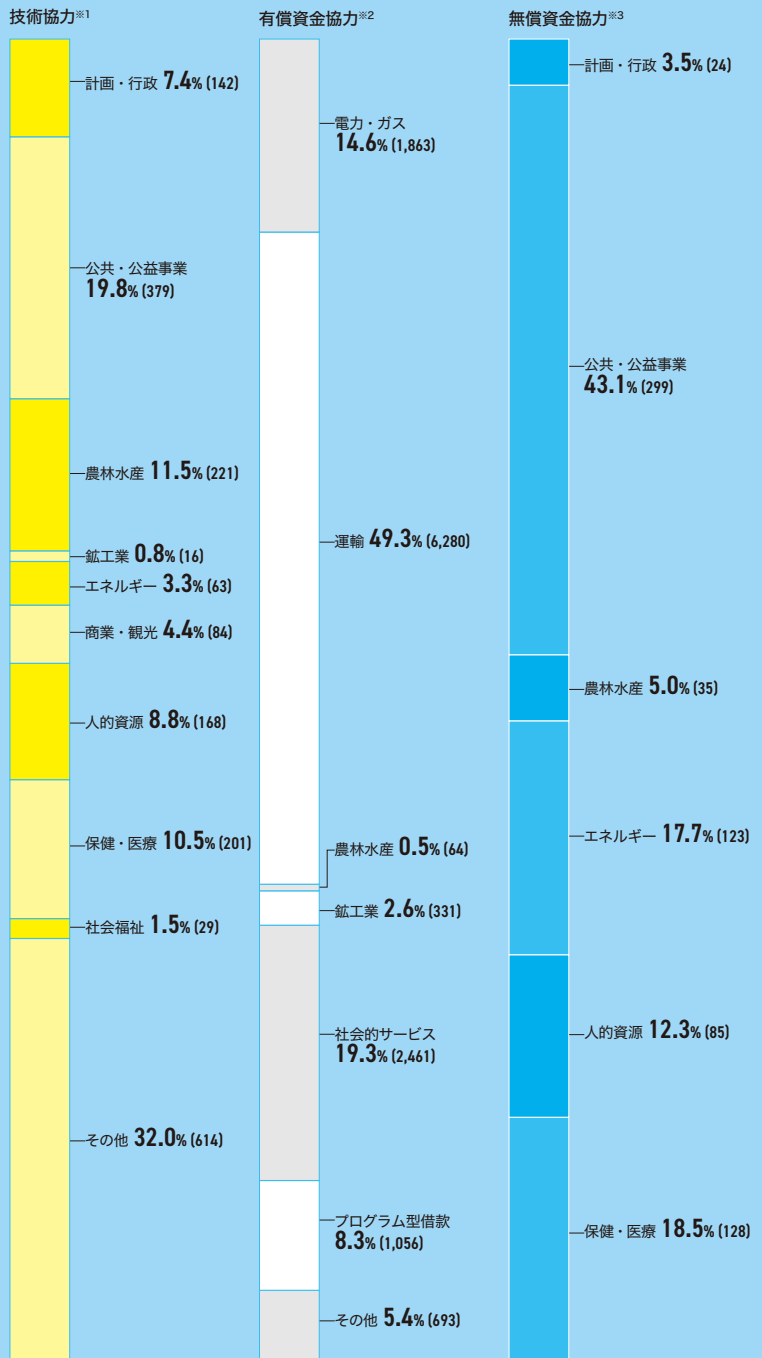
### 分野別の実績

技術協力について、その実績を分野別に見ると、公共・公益事業19.8%、農林水産11.5%、保健・医療10.5%の順となっています。

有償資金協力については、運輸分野への協力実績が49.3%、次いで社会的サービス19.3%、電力・ガス14.6%の順で割合が高くなっています。

無償資金協力については、公共・公益事業が43.1%、次いで保健・医療18.5%、エネルギー17.7%となっています。

分野別の実績構成比(2021年度) (単位: %/億円)



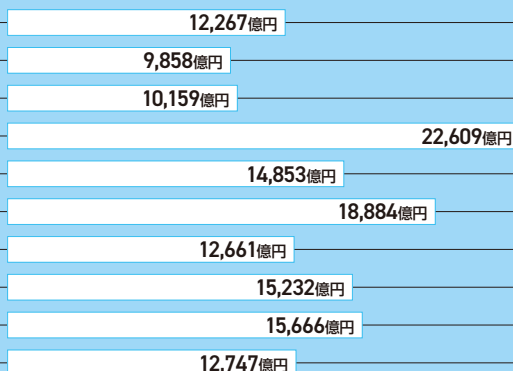
(注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがあります。

※1 有償資金協力勘定予算による技術支援などを含み、管理費を除く技術協力経費実績。

※2 円借款、海外投融資(貸付・出資)の承諾額。

※3 贈与契約(G/A)が締結された案件の供与限度額。

過去10年間の有償資金協力承諾額の推移<sup>※2</sup>



過去10年間の無償資金協力の事業規模の推移<sup>※3</sup>

